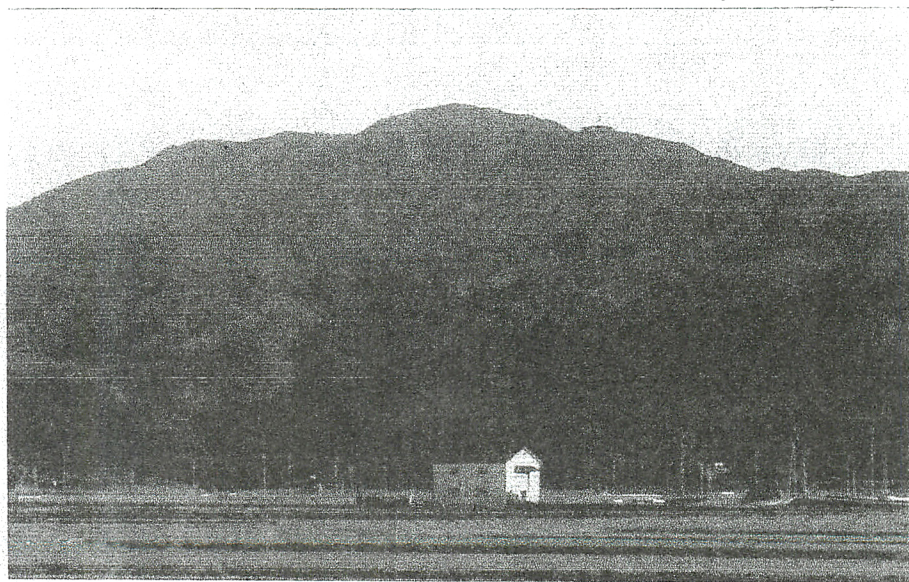


山のトイレ協議会通信

第6号



雷山(955m)(糸島市)

目次

ふるさとの山清掃ハイク	2
第3回定期総会が近づきました!	3
竈門神社駐車場に水洗トイレが完成 しました	4
宝満山キャンプ場バイオトイレの 使用状況(平成22年1/1~12/31)	
および問題点	5~6
自然地域し尿処理技術セミナー	7
運営委員会の動き	8

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

3月11日の東日本大震災での大津波などによりお亡くなりになられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、家屋その他全ての財産を無くされ、更に未曾有の震災に追い討ちをかけるように発生した福島第一原発での放射能漏れ事故により今も厳しい避難生活を余儀なくされている多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。長い道のりですが、1日も早い復興を願うばかりです。

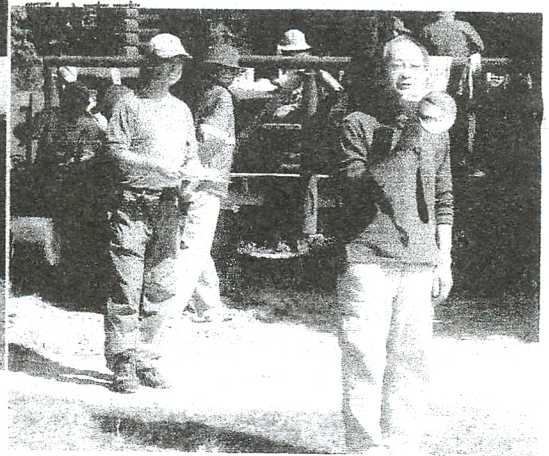
◎ふるさとの山県民清掃ハイク・トイレマナーキャンペーン 10月17日(日)

今回は共催の福岡県勤労者山岳連盟(労山)と同じ、宝満山山域で行なった。天気も良好で、参加者も多く、それぞれのコースに分かれ清掃活動を開始。当協議会は12名が参加、収穫は燃えるゴミ3kg、燃えないゴミ2kgでした。キャンプ場でマナー袋(※)、入会案内のしおりなどを配布しキャンペーン活動を行ないました。また、労山の集会に参加、当協議会の運営委員で西鉄山友会の伊藤会長からバイオトイレの使用状況等が報告され、使用者のマナーが日に日に向上してきているとのお話でしたが、維持管理、運営は大変だと苦労話もされました。使用する登山者の方もマナーを守り、清潔なトイレの維持に協力して欲しいものです。

※マナー袋・・・登山、トレッキングウエアである
(株)ムッシュから無償提供いただいた



キャンペーン活動中の参加者



キャンプ場での集会の際、バイオトイレの現況を報告する伊藤西鉄山友会会長

第3回定期総会が近づきました！

早いもので、当協議会も3度目の定期総会を迎えます。平成20年6月設立総会開催以来、今日まで宝満山を初めとする県内の山での登山者のトイレマナーの啓蒙活動を行なってきました。

トイレマナーの啓蒙という、実に地味な活動を現在まで続けてこられたのは、それを支えてくれる会員の人たちの理解の賜物です。それが無ければとても継続することはできなかつたでしょう。当協議会の運営は非常に厳しい状況にあります。

設立総会の丁度1年前開催された「山のトイレを考えるフォーラム in 福岡 2007」では、参加者が何と200名！そこまでの数を想定していなかつたのでスタッフ一同急ぎ倉庫からパイプ椅子を運びこれに対処しました。

しかし、回を重ねるごとに参加者は急激に減少してきています。

第3回定期総会は下記日程で企画しています。初夏、山行の計画を立てられている時期だとは思いますが、是非時間を割いて出席して下さることを願っております。今回は総会の後、日本山岳会福岡支部所属で、屋久島に在住され、長年屋久島の自然保護活動に注力されている登山家の太田五雄氏に「世界自然遺産と屋久島の環境について（仮題）」の記念講演をお願いしております。

一度は行った！行ってみたい！と考えてる方も多いと思います。総会出席が時間的に厳しい方も是非太田さんのお話だけでも聞きにいらして下さい！お待ちしております。

第3回定期総会 開催日時

日 時	平成23年6月26日(日) 13:00～(受付は12:30から)
場 所	太宰府館3F・まほろばホール
記念講演	14:20～16:00

太田五雄氏のプロフィール



北九州市出身。

アジア各地の山岳を中心とするトレッキング、登山を重ね、民間企業を退職の後、屋久島で山岳ガイド。日本山岳ガイド協会公認山岳ガイド。

「山と高原地図・福岡の山々」の執筆者。他にも著書多数。

竈門（かまど）神社駐車場に水洗トイレが完成しました！

昨年、3月発行の第4号でも触れていましたが、これまでの汲み取り式ではない素晴らしいトイレが完成し、3月30日から利用されています。

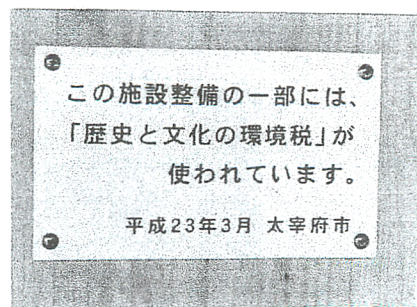
これまでのトイレの場所は、竈門神社入口の駐車場右側の一段高い所にありましたが、新しいトイレは、駐車場の左端に建てられています。

用地は竈門神社が提供し、太宰府市により建設されました。

仕様は、男性用小3基、大1基、女性用3基の洋式水洗便器ですが、今回、身障者専用のトイレ室も整備されたことは素晴らしいことです。

近年、登山客のマナーは大きく改善されてきてはいますが、未だに大便を埋めることもせず、そのまま放置していく一部の心無い登山者がいることは極めて残念なことですし、一時的な景観を汚すだけでなく、衛生面からも水質汚染など将来に禍根を残す問題でもあります。

美しい、素晴らしい宝満山の自然を将来に引き継いでいくためにも、入山前にトイレを！を是非守って欲しいものです。もし同行しているグループに「俺一人、私一人がしたっちゃ良かくさ！」って人がいたら是非たしなめてくださいね！・・・ただ、どうしても我慢出来ないって場合もありますよね。その時は、20cmほど掘って、やったらちゃんと埋めて下さいよ！・・・それと、使ったティッシュなどは必ず持ち帰って下さいね！簡単には溶けませんから。



男性用トイレ入口の横に取り付けられていました。

バイオトイレ使用状況(平成 22 年 1/1～平成 22 年 12/31 までの 1 年間)

西鉄山友会 提供資料

※ トイレ使用回数

	使用回数	使用率	1 日平均	平日の平均	日曜の平均
男子大便	2318	65%	6	1344/298=4	974/87=15
男子小便	12288		34	7127/298=24	5161/67=77
計	14606		40	8471/298=28	6135/67=92
女子大便	2288	35%	6	1372/298=5	914/67=14
女子小便	5873		16	4775/298=16	898/67=13
計	7959		22	6147/298=21	1812/67=27
総計	22565		62	14618/298=49	7947/67=119

例 男子大便 1344/298=4 ※日祝は 67 日間

平日の 298 日間のトータル 298 日間 平均値

☆平成 20 年 8 月 5 日より 22 年 12 月 31 日までの利用者数

※ 日曜日の最大回数(11/3 日) RKB 登山大会(登山者約 2,000 名)

男子大便	66
男子小便	355
計	421
女子大便	63
女子小便	135
計	198
総計	619

- 注1. 男子大便・女子大便はバイオトイレ
 注2. 男子小便・女子小便は浄化槽を通して自然流下方式
 注3. バイオトイレの 1 日のマックスは 90 回

※ 前年の使用者数は 738 名でした。

◎ その他の状況

- ①持ち帰り袋(※)使用数 年間 199 枚 (176 枚)
- ②便槽内に生理用品は 6 枚(前年は 8 枚)。持ち帰りのマナーが徹底されてきた。
- ③初期には使用後の攪拌モーターの起動ボタンの押し忘れがあったが、最近はかなり改善してきている。
- ④女性用トイレの汚れはほとんど無い。男性用は週に 4~5 回は汚されており、清掃が大変である。
- ⑤以前からトイレ内が暗いとの指摘があったので、一昨年 12 月に専用のソーラーパネルを設置、LED電球の照明は特に女性に好評のようです。

◎ 宝満山キャンプ場バイオトイレの問題点

1. ソーラー発電のみでは電力不足を来たす。(曇り、雨、雪の時は発電不能)
2. 電力不足を発電機で補っているが、梅雨時と冬期はガソリンの荷上げに忙殺される。
3. 電圧変動が激しく、バッテリーの寿命が短く、買い替えなど管理費用の増大と重いバッテリーの荷上げも大変である。
4. 利用者が多い時期、オーバーユースの状態では、便槽内が水分過多になり、ヒーター使用時間が長くなるので電圧低下を来たす。
5. 冬期は凍結する。(解凍にヒーターを入れるため電力低下を来たすことになり、発電機を使用するのでガソリンの消費も増加する。)

以上のような問題点から分かるように、山岳地でのバイオトイレにはエネルギー(電力)の絶対的な不足が常に懸念され、通年での稼働は極めて厳しいと言わざるを得ない。

2年6ヶ月の管理で得たノウハウで利用者の方に満足してもらってはいるが、物理的な条件(エネルギー問題)が満たされない状況での管理、運営は極めて厳しく、限界があると言わざるを得ない。

☆ 今後の対策として

1. 冬期は電力の消費を抑えるため、バイオトイレの使用を一基とする。
2. 極論ではあるが冬期は閉鎖する。
3. 風力発電等別のエネルギー補充の方策も考える必要がある。

電力線が引ければ、すべてが解決できるんですが・・・

自然地域し尿処理技術セミナー 出席報告 (一部を抜粋)

日 時 平成 22 年 12 月 3 日 13 時～

場 所 福岡天神センタービル 8F・TKP天神シティーセンター

参加者 70 名 (当協議会から 9 名が参加しました)

環境省が主導する環境技術実証事業の一環として、平成 15 年度から始められたもので、運営は特定非営利活動法人「山の ECHO」が行なっている。22 年度は前年度までの山でのトイレ問題だけではなく、山麓、海浜、離島など範囲を広げ環境保全に配慮し、洗浄水などを垂れ流ししない「非放流式」のし尿処理技術の実証試験を行なっているとのこと。

実証事業への理解を深めてもらうため、1 年に一度各地でセミナーを開いており、今回は福岡市での開催となりました。

北アルプスの槍ヶ岳山荘などを経営する穂刈康治氏のご自身の豊富な体験を交えながら司会をされました。

プログラムは、実証試験の意義、役割、新しい技術、導入事例の紹介などがあり九州地域の取り組みについても、屋久島の山域でのトイレ施設の現況について岡野鹿児島大准教授から報告がありました。

また、福岡県自然環境課の池田氏から県内の自然公園内におけるトイレの整備状況について報告がありました。それによれば、トイレの設置数は 30 ケ所。新たに設置したものは無く、改築や改修が主体のようです。

県内では、民間で 2 ケ所のバイオトイレが設置されていることが紹介されました。一ヶ所は福智山に筑豊山の会が設置したバイオチップ補充方式の愛称「山ぼうし」で、電力は発電機によるもの。

もう一ヶ所は、トイレ通信でも使用状況について皆さんにも報告している、宝満山キャンプ場に西日本鉄道(株)が建設し竈門神社に寄贈したトイレで、木片のチップに数種の土壌菌を棲息させている「完全発酵分解型」のもので、電力は主にソーラー発電となっている、との説明でした。本紙の 6 ページに宝満山キャンプ場バイオトイレの問題点で触れますが、福智山共々特に冬場の発電には苦慮しており、ガソリンに頼らざるを得ず、担ぎ上げや燃料コスト負担増など多くの問題を抱えています。これ以外に山岳宗教の霊山である英彦山にバイオトイレの設置も検討しているとのことのお話でした。ただ、設置の是非、場所は勿論、関係団体、地元市町村などとの調整なども殆ど進んでいない状況にあり、早急に結論を出すことは厳しいと言わざるを得ないようです。

運営委員会の動き

開催月日	議 題	場 所
9/15	古処山のトイレ状況調査をするための意見交換。 英彦山のトイレ問題について日本山岳会北九州支部 大庭氏から現況報告。 10/17 宝満山清掃登山への対応。	さざんぴあ博多
10/19	“ 報告 パンフレット作成の検討	さざんぴあ博多
11/10	“ 自然地域トイレし尿処理技術セミナーについて	さざんぴあ博多
12/21	“ 報告 パンフレット検討 自然地域し尿処理技術セミナー出席報告	さざんぴあ博多
2/15	パンフレット検討 総会スケジュール討議	さざんぴあ博多
3/15	総会スケジュール、招聘講演者討議 パンフレット検討	さざんぴあ博多
4/19	総会実施内容の具体的検討。 5/15(日)清掃ハイク（宝満山）実施要綱討議	さざんぴあ博多

◎ お知らせ

5/15 「ふるさとの山県民清掃ハイク（宝満山・正面登山道）
集合時間および場所 8：30 竈門神社駐車場集合

山のトイレ協議会通信 第6号
発行日 2011年5月11日
山のトイレ、環境を考える福岡協議会
〒818-0115
太宰府市内山708番地
九州登山情報センター内
092(923)2729